

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび小社では『わたしはマララ 教育のために立ち上がり、
タリバンに撃たれた少女』を刊行致しました。
ぜひ、ご高評、ご紹介頂きたく、ご案内申し上げます。
画像の用意や、読者プレゼント企画などにもご協力させていただきます。
ご遠慮なくお申し付けください。よろしくお願い致します。 敬具

〒141-8510
東京都品川区西五反田 2-11-8
TEL:03-6431-1059

世界
24か国で
発売!!

いま話題の「勇気ある少女」の手記!

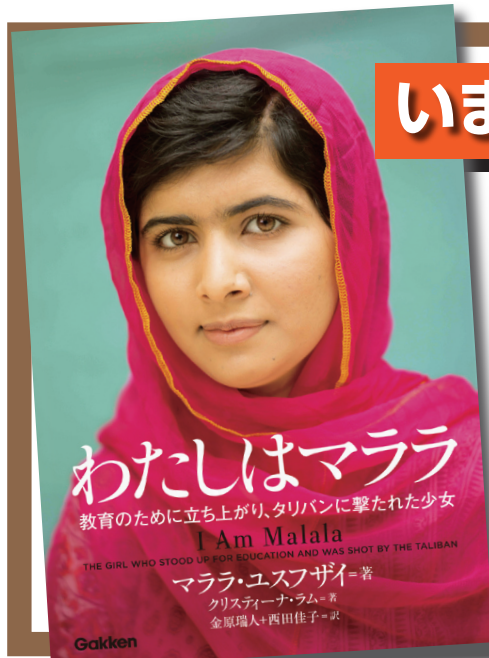
わたしはマララ

教育のために立ち上がり、
タリバンに撃たれた少女

マララ・ユスフザイ=著 クリスティーナ・ラム=著
金原瑞人+西田佳子=訳

本体価格1600円(+税) 四六判 448ページ

2013年12月5日(木)全国主要書店にて発売!



「すべての子どもに教育を!」

女性が教育を受ける権利を訴えて、イスラム武装勢力に銃撃された16歳の少女の手記。

本書は、テロリズムによって生活が一変した家族の物語でもあり、女の子が教育を受ける権利を求める戦いの記録でもあります。学校経営者である父親が、娘に教育を受けさせるために奮闘する姿や、男の子を大切にしている社会にありながら、娘に深い愛情を注ぐ両親の強さも描かれています。

※本書の売り上げの一部は、マララ基金に寄付されます。 www.malalafund.org

マララの声が世界に! アンジェリーナ・ジョリー、
マドンナ、ヒラリー・クリントン ……著名人も、マララを支持!

著者紹介 マララ・ユスフザイ

パキスタンの女性人権活動家。1997年7月12日生まれ。女性の教育の権利を認めないタリバンの圧力に屈せず、「女の子にも教育を、学校に通う権利を」と主張。昨年10月、スクールバスで下校途中に、タリバンに銃撃される。頭部を撃たれ、生死の境をさまようものの、奇跡的に命をとりとめ、その後も教育のための活動を続けている。
その勇気と主張が評価され、史上最年少でノーベル平和賞候補にも名前が上がり、数多くの賞を受けている。

《「わたしはマララ」新刊記念
角田光代さん×金原瑞人さん
トークセッション》

・日時：平成25年12月7日(土)
15時開演(14時30分開場)

・場所：紀伊國屋書店 新宿本店
8階イベントスペース

《メディア展開予定》

日本のメディアで、
初めてマララさんの
インタビューに成功。
本について語ります。

・12月上旬
日本テレビ
『ZERO』
『news every.』
で放映予定。

《宣伝展開予定》

・朝日新聞
(12/6全5段全国版朝刊)
・交通広告
(東急全線ドア横ポスター)
・WEB本の雑誌
(関連情報配信)
・特設WEB
(学研よみものWEB
ほんちゅ!)ほか

■書名：『わたしはマララ
教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女』

■定価：1680円(税込)

■著者：マララ・ユスフザイ

■体裁：四六判・448ページ

■対象想定読者：中高生～一般

■発売日：2013年12月5日(木)

■発行：(株)学研パブリッシング

・★内容・取材等に関してのお問い合わせ先★
・(株)学研パブリッシング 森田葉子
・〒141-8412 東京都品川区西五反田 2-11-8(16F)
・y.morita@mmf.gakken.co.jp
・TEL:03-6431-1473
・FAX:03-6431-1798
・★販売に関してのお問い合わせ先★
・(株)学研マーケティング 佐藤 梓
・TEL:03-6431-1201